

第2回 エンディングノート等作成ワーキンググループ 会議録

開催日時	令和5年9月28日(木) 14:00~16:00
開催場所	生駒市役所 4階大会議室
出席者	萩原氏、嶋司氏、佐々木氏、森氏、池田氏、飯塚氏、久本氏、黒川氏、堀井氏、宅見氏
欠席者	なし
事務局	福祉健康部 地域医療課 水澤課長、高瀬
傍聴	なし
案件	(1)第1階 意見交換のまとめ (2)エンディングノートの全体構成について (3)エンディングノートの詳細について (4)その他
資料	【配布資料】 次第、座席表 資料1 第1回 意見交換まとめ(全体構成について) 資料2 エンディングノート 全体構成(案) 資料3 エンディングノート R5.9.28 時点 オンライン講演 チラシ 人生会議のきろく、パンフレット活用についての説明文書
議事の経過	
発言者	発言内容
事務局	1 開会 ・配布資料確認
事務局	2 案件 (1)第1回 意見交換のまとめ ・資料1に基づき説明
司会	1回目の内容が反映されているかどうかも含め、皆さんからのご意見も改めて頂戴できればと思うので、まずこの資料1を確認いただき、ご意見等あれば、お願いする。
嶋司委員	P4の嫌いな食べ物の記入枠と記入日が重なっているのですらしてほしい。 また、手元に新しいエンディングノートがあり、参考に見せてもらったが発行元の担当課が書いてあり、ノートが手元になかった場合ダウンロードできるように QR コードが記載されている。生駒市の場合も同じように、工夫があればいい。
事務局	ホームページに公開予定のため、製本版には QR コードの記載を検討する。製本できる部数に限りがあるので、随時発行はしていく予定だが、足りなくなったときは、ホームページからダウンロードできるような形で対応していきたいと考えている。

司会	その他で資料1をご覧になっていただき、これはどうかというところがあれば。
事務局	資料1は前回、皆さんがご発言いただいた意見が漏れているところがあれば教えていただけたらと思う。
司会	ご意見なければ、資料2に基づき、案件(2)エンディングノート全体の構成について事務局からの説明をお願いします。
事務局	<p>(2)エンディングノート全体の構成について</p> <p>・資料2に基づき事務局、説明</p>
司会	<p>ただいまの説明内容について今回は順にご意見を伺う。ページごとに、量や、目的、方向性、コラム等が入っているので、これはもっと追加した方が、もっと減らしてもいいとか、次の議題の資料3でより詳しく議論いただけるかなと思っている。</p> <p>まず資料2に基づきご意見いただければと思う。</p> <p>まずこの表紙部分に関して、何かご意見等あればお願いします。</p>
飯塚委員	このままでいいと思うが、もしこれが置いてあり手に取って見てみようとなったときに、自治体によっては表紙に2ページ目の内容が書いてあり、それがいいと感じたが、いかがか。
司会	表紙は置いとくだけで、何のためのノートかがわかるような、工夫があればいいというご意見である。ご検討をお願いします。その他表紙に関して、何かご意見などあるか？
嶋司委員	まさしく、このままになりそうか。たけまるくんが入るとかデザインとか。
事務局	<p>デザインはこれから検討する。表紙に概要があっても分かりやすいかと考える。</p> <p>シンプルに文字だけのところがあれば、イラストのみのところ、イラストと概要説明があるものなど、いろいろなパターンがある。最近、発行された物は、1ページ目に、ざっくり説明が入っているのが多いとお見受けする。</p>
萩原委員	好みやとは思うけど、結構大事な問題かも。色合いとか雰囲気とか。
佐々木委員	名称だがエンディングとつけないといけないのか。
事務局	名称は皆さんにアイデア出していただき、広報を通じて決めていければ。
司会	<p>それではページ1、はじめにノートの使い方について。</p> <p>まずこの部分について、意見はあるか。何か追加した方がいい、関連した方がいいとか、ご意見あればお願いします。</p>

萩原委員	<p>大事なところなので、はじめにやノートの使い方については、生駒市の特色をいれた文章に校正が必要。</p>
司会	<p>この1ページは、ノートを作成した意図と話し合うためのツールであるという内容を記載するという方向性自体は、特に異論等はなし。内容をもっと精査しなければならないが、1ページを使って、記載するというごことをお願いする。</p> <p>では、2 ページ、目次こちらは何かご意見等あればお願いする。</p>
飯塚委員	<p>このままでもいいと思うが、成年後見制度とか、大事なコラムも結構はさんであるので、見てほしいコラムは、このページのところにあると書いてあっても、いいのかと思う。</p>
司会	<p>コラムも目次があれば、より興味を持ってそのページ開いていただけるかなということ。</p>
萩原委員	<p>これはこの前議論したからこうなっていると思うが、エンディングのところ1. 葬儀について、2. ペットについては、違和感がある。</p> <p>ペットを大事にしているのはわからなくはないが、例えば盆栽を大事にしている方がいてもいいと思う。生き物と一緒にすべきじゃないかも知れないが。</p> <p>身の回りの中の何かぼかした書き方でもいいのではないか。</p>
事務局	<p>他市町村とかは残したいものとか、物の整理みたいな形で書いてあり、その中にペットや趣味のものがあるので、そういう方法で、対応することも考える。物って書いてしまうとペットはものじゃないといこともあるかと思うので、その辺は配慮しながらになる。別の表現や記載方法を検討する。</p>
嶋司委員	<p>6ページの下辺りぐらいでもいいと思うし、連絡してほしい人の下ぐらいでもいいかもしれない。</p>
司会	<p>そのあたりの具体的なご意見は、案件3の中で資料3に関してお話していただく場面があるかと思うが、その中でまた皆さんのご意見を頂戴しながらまとめていければと思う。</p> <p>次、ページ3, 4。私についての基本情報だが、書くためのページということで、ご本人の趣味や嗜好、今までの生活史を記載することが目的となっている。2ページを使って、その方のことをまず書いていくということになるが、この辺のページの配分や、記載してもらった内容、もっと足した方がいい、コラムもそうだがそのあたりのご意見をいただければと思う。</p>
萩原委員	<p>名前ふりがなのスペースが多い。自分の名前を書いてみたら書き込めないの、旧姓の記載場所などを含めた構成が必要。</p>
事務局	<p>今、書き込むところまでは検討できていないので、多分右側がすごく余白が多くなっている。レイアウトのときに書きやすい幅とサイズにさせていただく予定。</p>

嶋司委員	わたしについての連絡先の下の所属先という言葉が気になる。仕事、地域活動や、役目など。いい言葉は浮かばないが、皆さんのご意見もらえたらと思う。どうか。
飯塚委員	確かに硬い、所属。
萩原委員	所属しないとだめという話になるので、役割とかでもいいのか。
事務局	構成時に、他のレイアウトを見ながら確認させていただく。
森委員	これは全体的には字が大きくなって見やすく、もう少しページ数も増えていくのか。
事務局	書きやすくしたときに、ページ数がどれぐらいになるかというところ。2ページで収めてしまうように、構成依頼して要らない情報を落としていく方法もいけると思う。皆さんの中でも、これぐらいの情報で3ページぐらいあった方がいいというイメージとか、ここに載っている情報が既に多いので、もう少し減らして2ページに収まるイメージか。そのあたりいかがかと。
森委員	もうちょっとゆったり、全部基本情報のところをかけた方が、書きやすいと思うので、2ページが3ページぐらいになってもいいと思う。 資産情報が結構早くに出てくるから、こんなにすぐ書けるか。心の準備じゃないが自分の基本情報を書いている中でも、急に資産情報を書くことが、少し早く出過ぎてないかと。項目としてそんな思いがした。
佐々木委員	資産情報の話、場所がまだ他に検討した方がいいのではないかと言う話だが。私の経験では銀行の口座って、3つ以上、普通あると思う。それから、株価は違って、株券または証券だと思うが、証券会社を複数使っている方って結構おられ、端株を持っている場合どの端株がどの証券会社の扱いになっているとか結構調べるのに手間がかかって困ったことがある。 できれば、元気なうちに内緒にしておきたいならどこかに書いて、封をすとか、何があるかを記載しておいていただくと、子どもは大変助かると思う。不動産の場合は、権利書の所在場所が必要で探すのが大変な思いをしたことがある。
萩原委員	これに、その情報を全て網羅する必要があるかどうか。今、言ってくださったように証券を持っておられるなら、その証券は、2階のどこ見て欲しいでもいいのかも。全部あげなくても。安全の面から見てもここに全部あげてしまうリスクを。
佐々木委員	封書にしてここにあるよっていうのもいいですが。
萩原委員	多分、書ききれない人もいる。株は、持ってない人は持ってないわけで、通帳も1本しかない人も、整理している人も、様々だからその辺を整理しておいて情報がわかるように誘導はしてあげたい。これがすべての情報が伴ってなくていいかも。全体的な質を上げるより、入

萩原委員	<p>口で、ここはやっとかないとで止めておかないと、記載内容が増えて重たくなってしまいます。このことに限らず、ペットのことにしてもそうだし、必要なことは、別で詳しく伝えたらいい。</p> <p>これを作る我々が重たくなってくので、まずこれは入口で、やりたいのは ACP というところの意思確認をしたいと、そっちをメインに考えたらいい。アドレスにしても、ここにアドレス書いてくれるのもありだし、パスワード書いてくれてもいいと思うが、どこかにまとめて、書く所を作りましょうぐらいでいいかと思う。自分的には書いたらいいとは思っているが。なかなかそれで筆、進まないという気もする。</p>
事務局	<p>整理しとかないと後々残された方、家族が非常に困るというコラムでもいいかと。</p>
萩原委員	<p>ペタッと挿絵みたいにして、何かアドレス書いたのとか、それこそ証券会社が書いたものとか何かそんな表だけ載せて、こんなふうに整理したらいいと思う。市販もされているかな。いわゆる商業的なエンディングノートとかで。</p>
事務局	<p>市販のエンディングノートというか、情報は終活で、しまいのためのノートみたいなもので細かく載っている場合がある。</p>
萩原委員	<p>商業ではないが、何かそういうことに重きを置いているものと、市がつくるものだから、そこに一線を画してもいいのかと。</p>
佐々木委員	<p>終活とは概念は違うのか。</p>
事務局	<p>終活となると本当に家の相続や、片付け・整理をどうするなどが書いてあり、死後の手続きをどうすると細かく記載されているところもある。そういうのが必要だと知ってもらいつつ、あくまでエンディングノートの目的はACPを普及させる視点。話し合いして、自分が望むケアや医療を受けられるようにするところをメインで、考えていただきたい。</p> <p>知っておいてもらうことは大切であるが。何か1冊にまとめてしまうと、本当に書く方も大変というところも出てくる。</p>
森委員	<p>司法書士会や弁護士会が作っているのがまさしくそういうことが多く記載されている。1冊の20ページほどで、今言っておられた情報が、網羅されている感じ。</p>
事務局	<p>表題は一緒でも、どこの団体が何を目的に作ったかにより、中身が大きく違う。</p>
池田委員	<p>1ページのここは、すごく大事なとこだと思う。それぞれがエンディングノートについて話していると思うが、この会の方向性を1本決めないといけない。考え方が個人で違うかもしれない。物事を起こすときにやはり理念とか方向性とか、指針がないと、なかなか話まとまらない。この会でどういう形のエンディングノートに仕上げていくのかをまず決めないと。</p> <p>リーダーが前回、最後に話したことがすごく響いた。明るく書けるエンディングノート。悲</p>

池田委員	<p>壮感もってやって欲しくないと、すごくそうだと思う。何か方向性を決めないと、後 2, 3回しかないなので、この感じでいくと前回と同じような話が、1時間やって同じ話が出て、また役所がまとめて、多分次も同じような話の繰り返しと思う。まず、方向性を決めて、この会の理念や指針を必ず決める必要があると思った。</p>
司会	<p>私からの事務局への提案になるが資料2に基づいて話して、次に資料3でより詳しくという進行でいく話だったが、皆さんの意見聞いて、やはり資料2と3を分けて話すはとても難しく、すぐに中身の方に私達の考え方がいってしまうので、議事進行の中で、資料2と3を同時に進めて大丈夫か。</p> <p>先ほど話があったように、まずは会として1本の方向性が必要だということだが、それが今日この場で決めることができそうなところを決めるべきなのかは、事務局としてどのようなお考えかを一度お聞かせいただければと思う。</p>
事務局	<p>先ほど、話があったようにエンディングの部分で終活とACPの部分で目的がずれているところがあり、私もそこが伝えきれていなかった。事務局として、会の方向性をこの資料2でまとめきれたと思っていたが、だいぶ散見している部分があり、そこをもう一度整理したい。</p> <p>事務局として、このエンディングノートを作る目的、市民に伝えたいことは本当にACPの部分であり、その人が望む医療やケアを受けることができる。それを伝えることができることをメインに残していただきたいというのが一番大きな目的と思っている。</p> <p>その中でいろんな家族のお気持ちや自分のことでどういことを伝えた方がいいか、実際、遺族の立場になったときにこういう情報があればいいと、いろいろ入れているので、余計にややこしくなっているところがある。</p> <p>行政として作るかつ、この在宅部会の下のエンディングノートのワーキンググループで作る点で考えると、医療と介護の部分に特化して伝えていけたらと思う。</p> <p>今、話があったように、これを書くことでしんどくなるのは避けたいと思うので、しんどくならないように、どこまで記載すべきなのか、どういう表現をしていくべきなのかを皆さんと一緒に考えていきたいというのが事務局の意図である。</p>
司会	<p>1ページの真ん中に、「このノートを書き始めることが、大切な方との話し合いのきっかけづくりになれば幸いです」と書いてあり、私の中では両親が勝手に書くものではなく、そこに長男がいて、次男の私がいて、その中でこういうことがあったよね、こういうことが大切だよねという家族もしくは大切な人との話し合いのきっかけ作りになればと思っていた。</p> <p>先ほど話があったみたいに、詳しい証券の情報がなくても、家の証券はここにあるよというのが会話の中に出てくれば、スマホとかで録音しながら会議すると思う。もし、万が一のことがあったら聞き直したら、ここに家の契約書あるとかはわかる。家族として工夫しながら、書き始めるための一つのツールであればいいという思いでいろいろお伝えしていた。</p> <p>このあたり、それぞれの想いもあるので、難しいところだと思う。先ほど事務局から説明いただいたような方向性でこのまま話進めてとりあえず形にしていく方向でもよろしいか。</p>

<p>宅見委員</p>	<p>エンディングノートを作ろうって考え出したきっかけが、そもそも40年後の生駒市の話をしたときに、在宅療養が前提で話しが始まっているのはおかしいのではないか、施設や病院を希望する人もいるというところから始まったと思う。だからこそみんなでACPについて考えるきっかけをまず種をまいて、意見を集約してみんなで市民が何を望んでいるかをまとめていくことがきっかけだったと思う。一番大きな目的は、市民の意図をつかむことだと思う。</p> <p>では、何が知りたいのか。ゴールはこれを作ることじゃなくてその先のことだと思う。だからこのノートは個人の終活をすることじゃなくて、生駒市の40年後がどうあるべきかを考えていくことのツールであり、これが完成したからって、ゴールではなく、まだまだ先にやることがいっぱいあると思う。一体何を知りたいかというところに戻った方がいいと思う。遺産を知ってまとめることが大事じゃなくて、市民に何を私達は期待をしてこれを書いてもらったらいいいのか、1回整理した方がいいかと思う。</p> <p>そもそも市民に自分がこうなったときに書けるようにということだったら、もっとシンプルに書くべきだと思う。元気なときは書けるかもしれないが、いざ書こうと思ったとき、しんどいときに、こんなこと書けない。最初の1ページ開いて、人生の終末期ではない私が、仕事をして疲れた状態でこれを書くと、すごくしんどいので、病んだ人とか、人生の岐路に立たされた人がこれを今書きなさいって言われても書けないと思う。</p> <p>なので、もっとシンプルでいいのではないかな。前からこの近大病院が作成したのがいいと思っずずっと大事に見ているが、このぐらいの内容で見開き1枚でもいいと私は思う。こんないっぱい書いたら、絶対につらい。なので、生駒市の方向性はこのぐらい細かく書くことが目的なのか、そうじゃなくて取り掛かりをもっと気軽なところから始めて、その先でもっと膨らましていく。最初の1段階は、このぐらいの見開きで始めて、そこから、完成形でもいいと思う。だから完璧に作りましたよりも、もう少しシンプルに、みんなが負担なく気持ちよく書けるものがないのではないかな。これでは書けないと個人的には思う。</p> <p>なので、生駒市がどうしたいかというツールなので、しんどくなるのは絶対やってはいけない。嫌いな飲み物とかもいらぬような気もする。もっとシンプルにできないかと思う。</p>
<p>飯塚委員</p>	<p>今のご意見を伺って、エンディングノートっていう形で配布すると、もらう側としては、今の意見に意図する部分も伝わるように受け止めると思うが、エンディングノートであるからには、人生の最終のときに私がどういうことが必要だろうかがある程度網羅されていないと、載ってなかったとか、何か期待を裏切られたような感じにならないかと思う。</p> <p>だからこうやってなるべくたくさん押さえておくポイントを網羅しようと思った結果が、これだけを盛り込んだものになったと感じた。そうするとき、先ほど話があったみたいに知っておいてほしいことは簡単に載せておいて、考えてほしいところは、ページ数を多くしているとか、重点を置くところと、さらっと伝えるところのメリハリをつけるのがいいと感じた。</p> <p>エンディングノートという名前で作ると、網羅したものと先入観があるのかもしれない。</p>
<p>事務局</p>	<p>今、シンプルなものをと意見があったが、事務局として近大ぐらいの見開き1ページは少な過ぎると感じている。ACPのことではあるが、どちらかという事前指示書、病院として入院してきたときにどういったものが欲しいかの色合いが濃いと思う。そこも網羅しつつ、今意</p>

事務局	<p>見があったように、広く必要なものも記載した方がいいかと。</p> <p>特に介護をどういうふうに受けていきたいか、判断能力低下してきたときには、自分だけではなく他の人にも頼っていききたいかはあった方がいいと思う。</p> <p>第2章の部分については特化して準備したい。本当に第1章の私についての部分や、エンディングの葬儀のところは、事務局としてはできるだけ比重は落として必要最低限のことを書いてもらうのでいいと思う。</p> <p>ただ医療のことだけが出てきて、ご飯が食べられなくなったとき、事故起きたとき、病気になったときにどうするかをいきなり考えて書くのも、正直皆さん難しいかと思うので、まず簡単な自己紹介の文章みたいなどを導入として書き始めた上で、こういうところがあった方がご本人としても書きやすい意図でしている。</p>
司会	<p>資料2と3に基づきながら、いろんなご意見はあると思うが、先ほど事務局からの説明にもあったように、ある程度の内容は、生駒市としては作っていく方向性なので、それに基づきながら進めさせてもらえればと思う。先ほど申したように資料2と3を切り離して考えることは難しいので、また初めに戻るかもしれないが、初めからこれ入れた方がいい、これはもうちょっとこうした方がいいという内容で、皆さんからもご意見いただければと思う。</p> <p>1ページは、とても大事な内容になるので、ここは今いろんなところから引っ張ってきてるものではあるが、もう少し精査した方がいいという意見があるのと、目次も、後ほどのページにも関わってくるが、ペットについてが、ここにあるべきなのかどうかも含めてという話もある。時間の都合もあるのでこの表紙ページ1, 2に関して、ご意見を頂戴できればと思う。</p>
萩原委員	<p>目次はこれからのことで決まると思う。方向付けとしては今、事務局からあったように、在宅部会なので、在宅介護のときに困らないレベルのものを作ろうと。それについて、できるだけそぎ落としてやる方向で考えていかないか。今日集まっているみんなも、遺族や仕事の立場があり、せっかく多職種集まっているので、実際の職場で、遺族の立場になったとき、職場でこれだけは押さえといてもらわないと困ることを出していけばいい。一番肝心な中身が決まってないが方向付けとしては、今おっしゃった方向づけで考えていけたらと。</p>
司会	<p>次3, 4ページ、私についての基本情報で、ご意見は所属先、イメージがしにくいとか、必要なのかも含めて、資産情報に関してのご意見も上がっていた。全体の構成として、3ページになっても少し増すというか、それが大きい方が書きやすいのではというご意見もあったので、そのあたりも含め、この3, 4ページについてのご意見をいただければと思う。</p>
嶋司委員	<p>物を書くときは勢い、テンションみたいなものがあると思う。本籍地とか住所やそういうことを書けるが、金融資産は、ペンを置いて通帳を探しにいく間にテンション下がる気がする。間を置く、電話や人の対応をするなど間を置くとそれで終わってしまうことがある。長所とか、学生の思い出とか、気持ちが乗っていくような順番にして、最後は資産情報とかはあればいいし、一旦おいても、次に繋がる順番構成にすると埋まると思う。健康手帳、薬手帳も揃えたら書いていけるようなリズムというか、書きやすさの流れを作っていくのはどうか。</p>

事務局	<p>先程、皆さんの意見を聞いて、一つ自分の中で整理できたことがあり、わたしについての初めのところは、誰もがとりあえず書き出せる。右側のページは、私達の意図であれば、家族でそんな体験したんだ、こんなこと好きだったんだと会話のきっかけになるページだから、それなりに残したい。この資産情報は、その後に出てくるいわゆる情報めいたものが全部もしかしたら3章エンディングの葬儀とかと同じ場所だったら最後にこんなことも必要と一つに整理できる気がした。削るのではなく、全部後ろに持っていったらどうか。エンディングに向けて、ご家族のために整理しておかなければいけないことを、ここに集約するのはどうか。</p>
嶋司委員	<p>絶対書かないといけないではなく、誰々がその話知っているみたいな一言書いておいたら、全部OKといった感じだと、だいぶ楽になるのではないかな。生真面目な方は全部書ききって疲れる感じがする。</p>
事務局	<p>会話としてたくさんして欲しいのは、4ページ。5, 6ページは改めて整理をしたい人もいるだろう。医療や療養の9, 10 ページは、踏み込んで会話することになると思うが。</p>
司会	<p>私も一つ意見があり、先ほど話があったが、エピソードはページ数が増えてもいいと思う。学生時代の出来事とかいろいろ思い出して家族と話して書いていただいたら。書くには箇条書きぐらいしか書けなくなるスペースになるので、別に何も無い方は白紙でもいい。全部埋めないといけないようなものではない。できればこういう話を父母とできて、書いてくれたら、葬儀のときにそんなことを思い出せるかと思った。正直、父母の学生時代の事も知らないで、どんな生活をしていたかも知らないが、そういうのがあれば面白いと思った。</p>
事務局	<p>そういう出来事が積み重なり、だから自分はこういうケアを受けたいとか、こういう最期を迎えたいというところになってくると思う。もちろん話のきっかけの一つもそうだし、その人のより良いケアに繋がる意味では、記載スペースとして残したいと思う。</p>
司会	<p>3, 4ページに関して、ご意見などあれば。次に5, 6ページに関して、ご意見等あれば。</p>
黒川委員	<p>6ページ目、内容はこれでいいと思うが、ぱっと見、何か書きにくい、レイアウトの問題。</p>
事務局	<p>表の形にして記載してもらいやすくする予定。</p>
宅見委員	<p>4ページに戻るが、これからの自分は、わかりにくい。病気になったときの話をしているのか、元気な自分が今から旅行に行きたいという話をするか。</p>
萩原委員	<p>記入日によって変わってくる。病気だったら病気のことを書く意図を持ったもの。</p>
黒川委員	<p>記入日を記載して更新できるようになっている。この日はこう思っていたが、病気とか、歩けなくなったときは、誰かに手伝ってやっていきたいと更新できるような形で。</p>

宅見委員	<p>結局ここが一番大事だと思う。2行では絶対足りなくて、フリースペースぐらいあってもいい。そこから派生して病気とかになってくる。誰に遺産あげるとか、何でもいい。もう少しわかりやすく書かないと、これは何書いたらいいのかと思う。出来事の話は、ここからその人の人となりを知ることができて、いいきっかけとなるが、急に方向が変わったように思う。</p> <p>それなら、裏のページからいったらどうか。</p>
事務局	<p>最後に記載できるぐらいのフリースペースはある。</p>
宅見委員	<p>ここまで何か自己紹介みたいなページなのに、先のことをいろいろ言うのが一番大事なところではあるが、ここで止まりそうかと。自己紹介みたいなところのスペースは、一気に作るのなら作る。勢いよく駆け上がっていかないと。だからこのかかりつけの医療機関とかも、一気に書けるのかもしれない。次のページのことですが。</p>
司会	<p>フリースペースみたいな形がいいのかもしれない。5ページの家系図、いかがか。</p>
萩原委員	<p>いいと思う。こんなざっくりと書く程度で。</p>
池田委員	<p>先ほど話していた私たちに求められていることは、医療介護のところが一番メインだと思うので、それ以外はプロのレイアウトに任せたらいい。このまま上がってくるはずないと思う。これもたたき台で作って出してこられただけなので、イラストとか入れていろいろやってくると思う。ここは求められていないと思う。逆に私たちは専門職なので、そこを中心に話して、この言葉ちょっとおかしいとかでいいと思う。</p>
司会	<p>また構成会社と話はされるのか。</p>
事務局	<p>はい、ある程度固まったら投げてページ数これぐらいとお願いする。</p>
司会	<p>家系図は1ページ、連絡してほしい人も1ページ使うという方向性で大丈夫か。</p> <p>7, 8ページだが、先ほどあったように、僕らにとって一番専門的な部分で、医療と介護、ここから始まると思う。かかりつけ医療機関等で7, 8ページに関して、コラムの内容も含めてのご意見をいただければ。</p>
事務局	<p>一点事務局から確認ですが、介護保険のところ、介護サービス利用している横に、居宅介護支援事業所名と担当ケアマネージャー名という形で入れたが、利用者にはケアマネージャーの言い方の方が伝わりやすいか、介護支援専門員っていう正式名称で書いた方がいいのか。</p>
飯塚委員	<p>ケアマネージャーがいい。</p>

佐々木委員	<p>かかりつけ歯科の所ですが、介護施設で口腔ケアをされる場合、インプラントがあると困ってしまうケアマネージャーがおられると聞いたが、そうなのか。口の中を清掃する際、この義歯のところに総義歯、部分義歯、なしとなっていますができればインプラントをチェック項目に入れていただくと、役立つのではないかと。これからはインプラントの方も増えると思う。</p>
池田委員	<p>インプラントしたら何か引っかかるのか。</p>
佐々木委員	<p>インプラントは普通に歯磨きでいいが、口の中に金属製の棒がつったっているの、緊張してしまう方がおり、どうしたらいいかわからないと困っているという話を聞く。ケア自体は、普通にご自身の歯と一緒に、歯磨きしていただいているので、特別扱いしなくてもいい。</p> <p>MRI は全然関係ない。MRI で関係あるのは、口の中に磁性アタッチメントという磁石を使った固定装置があるが、その場合、磁気によるMRIに、ちょっとゆがみが出ると聞いている。インプラントは基本関係ない。</p>
黒川委員	<p>以前、インプラントの方がいて、MRI 撮っていいか聞いたら、病院も歯科ではないのでわからないと言われたので、歯科医院に問い合わせをしたことがある。歯科からいいですよと言われたが、患者さん自身がわかっていたらいいと思う。</p>
佐々木委員	<p>インプラントは費用もかかることですし、忘れる方はいないと思うが。</p>
黒川委員	<p>利用者が実際わからず、家族も知らないって言ったときに、困る。あった方がいい。</p>
佐々木委員	<p>MRI を私も聞かれるが、インプラント自体に磁石とか使ってないので大丈夫だ。磁性アタッチメントという別の装置があるので、それは若干影響があるかもしれない。</p>
嶋司委員	<p>急に入院になり、どうかと聞かれて、選択肢にこの言葉が増えてくるわけで、親のことあまり知らないといっても、これを見たらわかるということか。</p>
宅見委員	<p>ペースメーカーも、足に入っているチタンとか、いつ入れたか、何をいれたか、それが検査できるかできないかとか1個1個、問い合わせをしなきゃいけない。問い合わせ先どこかも全然わからなかったり、いつどこで入れたとかわからなかったりがあるって、そういうのは結構細かにするケースは多い。わからないから検査ができなかったケースは多い。</p>
萩原委員	<p>そうなる、いろいろな情報が欲しくなってくる。</p>
宅見委員	<p>医療者としてはこれ見たらすごく助かると思うが、こんな分厚い本をおばあちゃんが持てるかといったら持たないと思うし、どうしたらいいか。やっぱり書ける情報として書くスペースがあれば、何かレ点とか出来たらいい。</p>

事務局	インプラントやペースメーカーが入っていることがわかればいいか。
宅見委員	書けるスペースがあればいいが、盛りだくさんになる。
事務局	会話の中で家族に知ってもらえるように、スペースを広く取るイメージ。本人が伝えられなかったとしても、家族が知ってくれていたら、おばあちゃんがこう言っていたといえる。
司会	そのかかりつけ医療機関に病名とか既往歴書くところもあるので、その枠を多くすとか太くすとか。別にそこに何か特記事項みたいな感じで書いても、もしかしたらドクターならその9割見るだけで、もしかしたらというふうに思うかもしれないが。
飯塚委員	書く側からすると、何でこれチェック入れないとだめかわからないと、書かないかもしれない。ペースメーカーを入れているとか医療的な情報を伝えるのが、大事ということが、書く人にわかってもらえる工夫があれば、ありがたいと思った。
事務局	検査に影響が出るという一言があれば、手術歴とかも書いてもらいやすくなるかも知れない。コラムで追加検討する。
司会	続いて9, 10ページ、2 病気になったらというところ。 こちらもご意見などいただければと思う。レイアウトはいろいろ変わるものとして、こんなものを入れた方がいいとか、先ほどからあがっているようなご意見で。
事務局	どこまで書き込むかは、1点だけ追加で資料を配らせてもらってよいか。 訪問診療を中心にされている先生にもご意見を伺い、実際の現場でどんな説明されているのかとか、そのときにどういったものがあつた方がいいのかを、ご意見いただいたので、そこも参考にしながら、お話を進めていけたらと思う。 ここの医療行為は、皆さんも前回、話していたように、書いても本当にわかるのか、チェック入れてそれで本当にその人の意思になっているのかななどの問題がある。とりあえず説明をいれる必要があると思い、入れたのと、長所短所もあつた方がいいと意見があつたので調べながらこんな感じでどうかと入れてみた。入れるとそれだけ情報量が多くなり、見えやすさがどうかということ、また、すごく偏った情報提供になっているのではないかと考えている。 その上でお話を聞かせていただいたら、チェックボックスという方法もあるし、逆にこういうところはフリーライティングで、オープクエスションの形でとあつたので、そのあたりも含めてこれ以降のページの検討を進めていきたいと思っている。
萩原委員	この意見はいい。末梢点滴、中心静脈栄養、経鼻栄養、胃ろう、昇圧剤、人工呼吸っていてもわからない。選択する方法を書いてくれているように、ミスリードするところが起こってくるので、その辺はお茶を濁しといてもらった方がいい。昇圧剤の投与って制限されても病院では、使うときは使うし、使わないときは使わない。一時的なもの、長期間にわたって

萩原委員	<p>のものと混ざっており、この時点でもわからない。蘇生術だって蘇生が必要なときは蘇生するし。でも蘇生するかどうかは、書いてくれたように 1 秒でも長生きしたいとか、目的があって、誰かの結婚式に行きたいとか、そういうことを書いてもいいのかと。</p> <p>そういう意味では、これが引き出せるようなページにしたいので。この 1 突然の病気や事故で救急搬送された場合、2 介護看護必要になった場合、3 判断能力低下した場合、4 人生の最期が近づいた場合の分け方はいい。うまく組み合わせて作れたら。</p>
宅見委員	<p>病気になったときと、終末期と話が違うと思うが、これは一緒になっているか。</p>
事務局	<p>一応分けたつもりで書いている。</p>
宅見委員	<p>終末期の場合と、突然の病気の話とはっきり分けた方がいいと思う。</p> <p>例えば、終末期でがんのターミナルだが、痰が詰まった時に、「この人は、DNR(蘇生処置を拒否している)のため痰はとらなくていい」と処置をしなかった場合、そのことが理由で亡くなってしまったら、本人が望む医療とは違うと思う。がんで詰ませたわけじゃなく、ただ詰まった、それを吸引して挿管するのは普通のことだと思う。</p> <p>がんで、いよいよ昏睡状態になってきた人に対して心臓マッサージをするか。それと、急な突然のことと終末期のことは別なので、この書き方だったら全部終末期になってくる。</p> <p>がんで終末期だったら病気を治すためならどんな治療でも構わないはバツにはならないと思うが、私が今がんになりましただったら、違う答えになる。</p> <p>だからそのときの立場によると思うが、終末期のときはどうかというのは絶対いると思う。基本的には、絶対治療してほしい。だけど私が DNR だから、ここで急に倒れてもマッサージしないでは話が違うと思う。もっと分けないといけないと思う。あなたが余命 1 年と言われたときの話をもう 1 回ちゃんとやらないといけないと思う。</p>
池田委員	<p>前日もその話は、似たような感じで出て、分けたけど多分それが分けきれてない。</p>
宅見委員	<p>全然分け切れてない。もっと細かく書いてあげないと。</p>
萩原委員	<p>気を遣って分けてくれている。どう綺麗に分けたらいいか。</p>
宅見委員	<p>でも末梢点滴と中心静脈だって、私は末梢にしてほしいが末梢取りにくい人は中心静脈じゃないと死ぬと言われる時はどうするかは、リアルにある。しかも入らなくて鼠径部からしか入らない場合もある。感染を起こしたから鼻から栄養をいれるとか、ずっとやっていたら鼻に潰瘍ができるとか。実際のニーズと違ってくるけど、諦めますかって言ったらそうじゃない話は、実際現場ではある話なので、書きにくいと思う。</p>
事務局	<p>そこまでのリアルなケースに、どこまで全ケース対応できるかと言ったらわからない。入院するとこういうことが聞かれる、その時にどうしたいか今の気持ちとして聞けたらいいと思う</p>

事務局	て書いたが、その辺はまたご相談させてもらう。
宅見委員	何か結局、今の記載方法ではなくフリーに書くという意見に同感。
萩原委員	本当にそのときって、予測するのは無理だ。パターンがたくさんあるから。ただここに書いてくれているみたいに認知症になったらどうか、寝たきりでトイレ行けなくなったらどうか、治療を施しようがないことが示されたらどうかに割と集約される。もしものときで、そこからは想像おこさない。あと3ヶ月って言われましたって書くのはいやだ。あなたが3ヶ月と言われた時とか、いくつか例あげて組み合わせるときのときはこう、このときはこうだから、実はこっちというふうに想像できるようなページにする。
事務局	具体的な治療行為は省いてしまった方が誤解も与えないし、不安を与えないで済む。こんなときと仮定で書いた方が、最初に意見があったように、暗くなりすぎずに話のきっかけとして作っていける部分もある。明るい気持ちで前向きな気持ちで期待ができるかな。
司会	難しいが、介護施設の立場で言うと、胃ろうの意思表示だけは、初めから聞いておきたい。胃ろうをするかしないかで家族が、毎回病院の度に悩まれるケースがある。家族間でも意見が完全にわかれてしまう。普段見ている家族からすると、胃ろうは望んでいなかったと言っても、遠くに住んでいる家族が、胃ろうしたら長く生きられるなら胃ろうしてほしいと、全然話がまとまらない。そんなこと言ったら全てのものが出てくるので。
萩原委員	問題なのは、その次に起こること全てを話できる状態かどうか、それをここで問われたときに、判断できる情報を全て与えることができるかどうか、この紙で。
司会	実際に書いてくれているのは、食事が取れなくなったら文章にそれが続いてくれれば実際のことが出てこなくても、チューブに繋がれたくないので、管はやめておいてほしいという意思表示が、そこであれば解決されるのかと思う。今回いただいている参考資料の内容をうまく入れ込めていければいいと思う。そのあたりは次回までをお願いしても大丈夫か？難しい内容になるかどうか。
事務局	今日までの話を聞いている中であくまでエンディングノートはまず初回として、今年度作ってみようかなので、まず初めの取っ掛かりとして、皆さんが書きやすいのは確かにこのオープンクエスチョンかと。それを実際、市民とか皆さんが現場で使い、どういうふうにかけているかを見た上で、細かい医療行為もあった方がいいとか、話しやすくなったときに、第2弾でももう少し具体的なところを記載することもできるか。ACP の概念とか、医療行為を皆さんがもしかしら知ってきた上で考えていくような形でもいいかと思った。
池田委員	私はすごくいいと思う。これで進めていって。ここの言葉を次作ってくださって、僕らで見てもうちちょっとこう入れた方がいい、この言葉はちょっとよろしくないとかして。これすごくいい

池田委員	いと思う。細かくするんじゃない。
事務局	このクエスチョンだけ書いたらどうかだったが、クエスチョンだけ載せてしまうと、みんなその後どう書けばいいのかとなってしまいかもしれない。
萩原委員	「もし」があると考えられるので。
池田委員	こことか工夫だと思う。例えば生駒だから、横でたけまるくんが言葉で答えるイラスト入れたっていいし、普通に例文入れてもいいしプロの作成する人の、要は読みやすい、書きやすいようにしてもらったらいと思う。何か例文がないと書けないと思うので、何かリードするやつは必要かな。
萩原委員	文章全部かくことは厳しい。どうして欲しいと聞かれて。
池田委員	ただ丸するやつにするとか、何かいろんな方法があると思う。
事務局	病気になったらのはところは、今の形で残す部分と、先生からご提案あったようなオープンクエスチョン、クローズドクエスチョンで書くような形でさせていただけたらと思う。
池田委員	まずはこのページで絶対残さないといけない所を。
嶋司委員	質問1は重要じゃないか。9 ページの。その人の方向性がどんどん出てくるので。
萩原委員	これもそれぞれもしものときに、入れていけばいいと思う。それでそういう分け方で進んでいったらいい。
宅見委員	輸血とかはどうか。ここには、はいらないか。
事務局	輸血が必要になった場合にどうしますかっていうオープンクエスチョンとか。
宅見委員	意外に気にされる方は多い。
事務局	質問を入れてみて、どれくらいの量になるか、私も思いつく限り挙げてみようかと思う。
萩原委員	入れたことでまた問題起こるかもしれない。私達を区別するのかと言われる。
池田委員	言う人は向こうから言ってくる。しないです。
宅見委員	いよいよのときしか言わない。

萩原委員	輸血だけか、血液検査とか全部そうかも。色々だから。病院にまかせよう。
宅見委員	アルブミンは行くけど、あの赤いのは入れないでとか。
事務局	具体的になりすぎると、皆さん想像つかなくなりそうなので、がんになったら、脳梗塞になったら、肺炎になったら、口から食べられなくなったらみたいなイメージかと思っている。
萩原委員	病名でやってしまうと、答えが入れられない。例えば脳梗塞になっても麻痺なく戻る人もいる。片やしゃべれなくなる人もいる。だからどうなったときのシチュエーションを挙げて質問、設問しないといけない。
事務局	身体能力的なところですか。
宅見委員	治療は施しようがないと言われた時とか。
事務局	その方向で、考えてみる。
司会	11、12 は同じような話になってくるのかと思うが。
事務局	同じように、13 ページまではオープンクエスチョンを入れる形でいいか。
司会	人生の最期が近づいた場合と同じような。14 ページ、3番エンディング。 先ほど、こういうところにいろんな金融機関の情報とかも含めて入れ込んだらいいとか、情報として入れていったらいいかという意見もあった。3番でご意見あるか。
事務局	1章のところと3章のところは、今回と前回の話をもう少し精査した上で、事務局で整理する形でさせていただけたらと思う。
司会	伝え忘れたとか、意見出し忘れたことがあれば、ご意見いただければと思う。
飯塚委員	4 ページですが、確かにここは、暗くならないし明るい気持ちで書くとかそういったことに重要視されている部分だと思うが、好きなものを書くのは適当というか、自分のプロフィールって言ったら、子供の頃から好きな食べ物とか長所とか、何かそういう項目をそのまま拾ってきたような感じで、人によっては馬鹿馬鹿しいと思われる人も出てきてしまう印象がある。だから ACP に繋がるような、自分の人生を生きていく上で大切にしていることがうまく引き出せるような内容にして、書きたいと思う内容もうまく入れられたらいい。通り一遍の質問項目じゃなく、すぐく考えないといけないところだと感じた。皆さんの意見いただいて、それをすぐく感じた。

事務局	好き、嫌いな食べ物は、最後にこれだけは食べたいとか、口から食べられなくなっても、本人が好きだったから、食べさせてあげたいという家族の思いもあるかと思い記載した。
萩原委員	最後の食事で、ストレートに聞いてもいいかも。今好きなものより、前向きになるのでは。
佐々木委員	好きなものって聞くからか。通り一辺倒のイメージになってしまう。
事務局	本当に最後のときは、食べられなかったのに、大好きだったあの鰻だけは食べれたのっていうのがあると思う。
飯塚委員	人生最後に食べるならこれってある。
黒川委員	イメージわきやすい。好きだって言われるよりも。
司会	その他、何かご質問でもご意見でも。
池田委員	エンディングノートの名称をどうするのか。リサーチして、提出する日はいつなのか。×切の目安がないとあげられない。この会で何個か決めて、候補にいくと思う。次に話し合うので、メールで何日前に送ってくださいとか、何かできないかと思って。
事務局	次回が10月26日を予定しており、ここである程度絞り込みにかかれたらと思うので、できれば10月20日ぐらいまでに皆さんからいくつかご意見いただけるとありがたい。
池田委員	ある程度、最低一個プレゼンするようにしておいた方がいいとか。
萩原委員	リサーチかけようと思ったらノートがある程度、出来ている必要があるか。ここに参加している人は意図もわかっているが、そうでない人にアイデアをもらうのであれば、ある程度ノートが出来上がっていないといけないのではないか。
池田委員	エンディングノートは専門職なのである程度みんな知っている。エンディングノートって言葉が暗いから、何かいいのを探して考えておいてと聞いている。出来上がってからだと間に合わないかと思う。言葉に寄せるように多分考えられると思う。
事務局	できればそんなイメージでお願いできたらと思う。市民に見せるときにはある程度出来上がった状態でこういうのを作っているの、これに合うものという形でと思って。皆さんからいただく段階では、名前がよくないと、お伺いするのでどういう名前だったら取り掛かろうと思えるかざっくりとしたイメージで聞いていただけるとありがたい。
池田委員	次回26日には、それぞれ持ち寄っている状態で、事前にまたメールをいただいてそこに個別に返信するような。

事務局	<p>メールしていただいたほうが、資料が作れるので、10月20日ぐらいまでに連絡がほしい。次回の日程は、どこまでいけるかは、印刷業者とも相談だが、ある程度製本した状況でお出ししたいと思っている。</p> <p>表題もご意見いただいたので、変わってくるかとは思いますが、ここの方向性がある程度見えたので業者に一旦投げて10月末ぐらいまでに初稿を上げてもらう依頼をするので、それが間に合わなかった場合にはもしかしたら日にちの変更をご相談する場合もあるかと思う。</p> <p>そこは早急に業者の決定含めてさせてもらい、今後のスケジュールは再度ご連絡する。</p> <p>他に何か皆さんからご意見がないようなら、事務局から改めて連絡事項等あるか。</p>
事務局	<p>このワーキンググループで載せるべき優先順位とか今日整理できたのかと実感している。次回また修正して、より良いものをグループの皆さんにお見せしたいと思う。</p> <p>連絡事項としましては、初めにチラシで、明日もオンラインで地域 BCP のすすめということで、研修会をさせていただく。</p> <p>山岸先生がこの地域 BCP を全国展開するために、今回厚生労働省の受託事業として進められており、私達生駒市もこれに参加していく状況である。とてもわかりやすい内容になっているので、もしお時間許すなら、お聞きいただければと思う。</p> <p>次回はメディカルセンター3階になる。連絡事項は以上になる。</p>
司会	<p>ただいまの説明内容で何か質問意見などあるか。エンディングノートのネーミングのことや、またメールの方お待ちしている。</p> <p>第2回エンディングノート作成ワーキンググループを閉会する。</p>